

# 桂坂山の手倶楽部だより

(第29号)

平成24年11月3日発行

桂坂山の手倶楽部だより編集委員会



## 役員会だより

### 1. 第1回合同会議開催(8/11)

- (1) 全体活動、同好会活動、区老連活動の報告がありました。
- (2) 「ふれあいトーク」、「趣味の作品展」の実施計画が発表されました。
- (3) 6月実施のアンケート結果が報告され、高齢者会員対策が検討されました。

## 市・区老連だより

### 1. 京都市老人クラブ大会で表彰

事務局

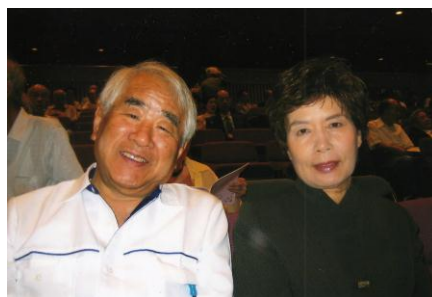
平成24年度京都市老人クラブ大会が、この9月11日(火)午後1時30分から京都テルサホールで門川京都市長を迎えて開催されました。京都市老人クラブ山田会長の挨拶に続き、金婚や長寿のお祝い、永年勤続等の表彰がありました。

当桂坂山の手倶楽部からは次の方々を受賞されました。受賞された皆様おめでとうございます。益々のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

#### 金婚のお祝い

松本 初次、至子ご夫妻(さくら)

伊藤 光男、稔恵ご夫妻(さくら)



松本ご夫妻



伊藤ご夫妻

#### 長寿のお祝い(90歳)

土橋 音和さん(さつき)

栗山 昌子さん(はなみずき)

江畑 はつさん(つばき)

前田 利枝さん(にれのき)

### 2. 区老連主催の一泊旅行と「カラオケの集い」の案内

福利厚生委員 松本 初次

区老連主催のバス3台による一泊旅行が10月24日、25日に実施され、当倶楽部から女性3名、男性1名の参加を得ました。伊豆、修善寺温泉で海の幸に堪能し、翌日は箱根、芦ノ湖、大涌谷を巡り燃えるような秋の景色を満喫しました。「沼津ぐるめ街道」では山と海の幸の土産を買い帰途につきました。参加して頂いた皆様ご苦労様でした。

次に、同じく区老連主催の「カラオケの集い」が来る11月21日(水)午後1時より、今年も京都エミナースで開催されます。桂坂学区から当倶楽部カラオケ同好会より大森正之さん(ひいらぎ)、加藤恵美子さん(けやき)、鹿取珠江さん(はなみずき)、大串和子さん(けやき)らの出演が予定されています。

是非皆さんお誘い合わせの上、お越し下さるようご案内します。

### 3. 文化芸能祭、作品展の開催

文化委員 中口 利秋

西京区老連主催の第22回文化芸能祭・作品展が9月8日（土）にウエスティで同時に開催されました。

芸能ステージでは、桂坂山の手倶楽部からカラオケ同好会の伊藤光男さん（さくら）が「湯の町哀歌」を、長谷川洋子さん（さつき）が「恋挽歌」を美声で披露されました。また、コーラス同好会の皆様が「気球に乗ってどこまでも」「二度とない人生だから」を合唱されました。



作品展では区老連全体で219点が展示され、



うち桂坂山の手倶楽部から絵画11点、書道24点、俳句9点、写真6点の計50点の力作が展示されました。



会場のホールは最後列まで満席で大成功で終えることが出来ました。多くの出演展示された方々、ご来場された山の手倶楽部の皆様方には観賞観劇、ご声援ありがとうございました。

## 同好会だより

### 1. マージャン大会

マージャン同好会 乗本 政三

10月1日（土）、今日は山の手倶楽部のマージャン大会。毎年、嵐山のオムロン保養所で開催していましたが、今年はふれあい会館で開催。6卓と今迄にない大勢の参加（男性18名、女性7名）で午後1時から熱戦をくりひろげました。

各卓ではリーチ、即つも、ドラ1満貫上り12,000点とか今迄一度も上がっていない“ついていないと泣き言を云う人・・・あちらこちらでわいわい、がやがや・・・横の卓では役満（四暗刻）つもった32,000点と嬉しそうな声も聞こえる”華やかな大会でした。



熱戦も5時過ぎに終わり、あと懇談会に移り成績発表があり、優勝水谷洋子さん・準優勝高橋守さん・3位坂井義男さんでした。飛賞、役満賞の発表もあり8時過ぎ宴会は終了しました。

地域交流、会員相互の親睦も凶れ大変有意義な一日でした。また来春に計画したいと思っています。

この山の手倶楽部マージャン同好会の例会は毎月第二土曜日午後1時からふれあい会館で開催しています。最近シニア麻雀が盛んでKBS京都でもマージャン教室があり、指の運動、頭の体操にもなり会員同士の親睦の輪が広がり、大変意義のある遊びだと思えます。

山の手倶楽部マージャン同好会ができて5年になります。当初マージャンを全く知らなかった方が入会され今では一人前競技を楽しんでおられます。

どうぞ皆様も昔の現役時代はよくやっていたが、リタイヤしてからやっていないと言われる方が一度例会を見に来て下さい。お待ちしております。

# 趣味の作品展開催

作品展担当 中口 利秋

10月25日、26日の両日「趣味の作品展」が京都中央信用金庫桂坂支店2階ホールで開催されました。作品展には、絵画同好会より34点、書道同好会34点、写真同好会14点、俳句同好会17点同好会の皆さんの作品99点が、また一般会員の皆さんの作品35点が出展されました。

同好会の皆様は、この作品展に向けて日頃から研鑽の成果を観て頂こうと自慢の力作を、また一般会員からも個性豊かな作品を出展頂きました。

来場者は200名を超え、また、西京区老人クラブ連合会の方々、他各団体の来場や京都新聞の取材もあり、皆さんの力作を讃え山の手倶楽部の活動も高く評価され、好評裏に終える事が出来ました。

展示会開催にあたりまして、多くの会員の皆様には、出展観賞を頂き誠にありがとうございました。



## その他のお知らせ

### 1. ふれあいトーク「講演会」開催

研修委員 伊藤 光男

9月29日(土)今回も大型台風が心配されましたが、沖縄からの講師島袋氏の便宜の図らいで予定どおり、ふれあい会館に於いて開催することができました。

島袋氏のプロフィールを兼ねたDVD映像「奇跡体験!アンビリバボー」に始まり、続いて「夢をあきらめない」を1時間半に亘り講演されました。当日は、山の手倶楽部と地域女性会との共催でもあって120名余りの聴講者で会場は満席となりました。

会場の皆様は、講演が進むに従って息をのみ真剣な眼差しに変わっていきました。島袋氏は不慮の事故で障害者となりましたが、明日に生きるために、いや生涯のために自分を信じて決断され、夢を希望に、そして勇気へと展開する「夢をあきらめない」という信念を持ち、何ごとにも挑戦するという同氏の意欲に感動と力をもらい「良いお話やったな」と多くの方の感想で、有意義な講演会であったと思っています。開催にあたりご協力、また出席いただいた皆様方ありがとうございました。



### 2. 朝の声掛け活動のお礼

子供見守り隊々長 田中 健一

今年も8月27日から31日までの5日間、始業時小学校東門に登校してくる子供達に「おはようございます」と声掛け活動をしました。参加いただいた皆様方ありがとうございました。この活動は、毎年夏休み明けと冬休み明けに、山の手倶楽部、女性会、PTAの皆さんが合同で行っています。今後も活動にご賛同いただく方の参加をお待ちしています。



### 3. 「桂坂ほっとラインの会」よりお知らせ

9月21日(金)に「桂坂ほっとラインの会」運営会議が開催されました。

今回共同募金会より助成金を当会に頂ける事となり、この助成金を活用して桂坂居住の全世帯に「桂坂ほっとラインの会」の活動内容、受付窓口等のお知らせをA4サイズ、ラミネート加工にて配布させて頂く事になりました。年内には各自治会を通じて配布される予定です。

配布されましたら仕舞い込まずに目につく所に(例えば電話機周辺等)備え付けて頂き困り事発生時に活用頂きますようお願い致します。

配布予定のプレート→

お手伝いの申込は

青山 正男 (つばき)	333-2051
田中 健一 (かえで)	332-1565
松井 政枝 (かえで)	331-8860
岡村 重臣 (さくら)	394-9123
真野貴美代 (社協)	331-8792
中西カズ子 (社協)	393-4622

までご連絡下さい。

地域とつながってます  
**桂坂ほっとライン**

桂坂ほっとラインは桂坂学区にお住まいのおおむね70歳以上の独居の方、高齢者世帯の方等などがひとりでは出来ないいちよっと手を貸してもらえたらと思っている方たちへの手助けをする会です。

家具の移動や簡単な修繕や敷地内での軽作業(2時間程)できないこともあります。まずはご相談ください。無償で作業させていただきます。

青山正男(つばき)	333-2051	田中健一(かえで)	332-1565
松井政枝(かえで)	331-8860	真野貴美代(しらかば)	331-8792
岡村重臣(さくら)	394-9123	中西カズ子(さくら)	393-4622

桂坂ほっとラインの会運営委員会(構成団体)  
桂坂学区自治連合会、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、老人福祉委員、山の手倶楽部、地域女性会、更生保護女性会

### 4. 新年互礼会の案内

平成25年新年互礼会が、1月12日(土)12時30分よりふれあい会館で開催を予定しています。

皆様が楽しく過ごして頂くよう企画していますので、是非ご出席下さいますようお願い致します。

なお、この互礼会の案内は12月に全会員様に書面でご案内します。

#### 会員からの一言

平成24年も残すところ2ヶ月となりました。毎年この時期になると郵便局から年賀はがきの宣伝が始まります。

われわれの倶楽部の中でも、会員同士でかなり年賀状の交換が行われているようです。確かに遠く離れた知り合い同士であれば、正月位はお互いに無事を喜び合う意味で年賀状のやり取りをする意味があると思います。

しかし、われわれ会員同士は同じ桂坂に住んでいて普段からお付き合いがあり、正月明けには互礼会も開催される事ですので、この際会員同士の年賀状(暑中見舞い等も含めて)のやり取りをしないようにしてはどうかと思います。虚礼廃止の時代でもありますので、ご賛同される方はこの正月から実行されるよう提案いたします。

お知らせ (8月1日以降)

退会された方 : 村上 久子さん(かえで) 9月にご死去されました。ご冥福をお祈りします。